

鶏は生後どのくらいで出荷される？

A

肥育速度が早いブロイラー（肉用鶏）は
生後約50日で出荷されます。

ブロイラーのライフサイクル



ブロイラーは一括管理されながら、ひなになる卵を生産する「種鶏場」、卵からひなをかえす「ふ卵場」、ひなを育てる「生産農場」へと場所を移して飼育されます。

「種鶏場」で種鶏（親鳥）から生まれた卵は「ふ卵場」へ運ばれ、21日間、30℃以上で温められてふ化します。ひなは「生産農場」へ運ばれた後、同じ日に生まれたひなといっしょに育てられ、生後約50日で約3kgまで成長すると出荷されます。

ひなは体温調整の機能が不十分なため、生後3～4週間は給温して育てるなど、飼育環境の管理が重要です。人や野鳥、犬から持ち込まれる病原菌などからひなを守るために、窓が無く、空調などをコンピューターで管理する鶏舎や、同じ日に飼育を開始したひなを一度に出荷し、空になった鶏舎を徹底的に消毒・洗浄する「オールイン・オールアウトシステム」を取り入れる農家も多くあります。

種鶏の成体重・産卵数



白色コーニッシュ
成体重(♂)：約5.5kg
(♀)：約4.0kg
産卵数：年100～120個



白色プリマスロック
成体重(♂)：約5.0kg
(♀)：約3.6kg
産卵数：年160～200個

